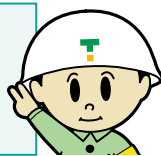


検査員の現場報告1



野鳥の接触による高圧停電事故発生！

弘前事業所 羽沢 桂一郎

高圧ケーブル接続部に野鳥が接触し高圧停電事故となった事例をご紹介します。

【状況】

10月初旬の8時頃、お客さまから電気事故受付センターに「工場内がすべて停電している」との連絡がありました。直ぐにお客さまへ連絡し状況を確認したところ、工場内の照明や機械がすべて使えないとのことでしたので、高圧事故を想定し3名で出動しました。

【調査】

30分後にお客さまへ到着し、電気設備の状況を確認したところ、構内第一柱の高圧気中開閉器用地絡継電器に動作表示があり、同開閉器が開放していました。また、感電したと思われる野鳥の死骸を同柱付近で発見しました。原因調査のため安全措置を行ったうえで同柱に昇り外観点検を実施したところ、高圧ケーブルの接続部で充電部が露出している箇所を発見しました。

【原因】

高圧ケーブル接続部の充電部露出箇所に野鳥が接触し、地絡継電器が動作したことで停電事故に至ったものでした。充電部が露出した要因には接続箇所の絶縁材が長期に渡り紫外線や風雨などに晒されたことで劣化が進行したことによるものと考えられます。

【復旧】

朝から工場内が停電して生産に支障をきたしており、一刻も早い復旧が望まれていましたが、自己融着テープなどの資材が必要なため、復旧に時間を要することをお客さまに説明し、了解をいただきました。幸いにも協会事務所で保有していた資材で対応できたことから、高圧ケーブルの充電部露出箇所に自己融着テープとビニルテープで2重の絶縁処理を行い、停電事故発生から2時間後には応急措置が完了しました。また、受電設備を含め、他に損傷箇所が無いかわり外観点検を実施し、異常がないことを確認しました。その後、東北電力ネットワーク(株)へ連絡のうえ、高圧区分開閉器を投入し復電しました。



【お客さまの声】

「突然の停電だったのでとても不安でしたが、早急な対応で復旧していただき助かりました。また、高圧ケーブル交換工事や電気設備の計画的な更新のアドバイスまでいただき、本当にありがとうございました」と感謝の言葉をいただきました。

【まとめ】

今回の事故発生原因のひとつに、高圧ケーブルが更新推奨時期を経過したことによる劣化の進行が挙げられます。高圧機器更新の必要性を説明したところ、ご理解をいただき、早期に交換を実施され、電気を安全に安心して使用いただけるようになりました。



高圧ケーブル接続部の充電部露出箇所